

平成23年度音楽科教育にかかわる現状と課題

部長 種 村 啓 子

1 音楽科教育の動向

【上越地区】

11月25日（金）、第48回上越音楽教育研究会研究大会を柏崎市立新道小学校にて開催。中村恵教諭が、第6学年で題材「曲想を味わおう」の授業を公開。比較聴取によって合唱曲の合唱部分の仕組みや強弱表現の表現効果を感じ取るとともに、歌詞や旋律の特徴などから、イメージと表現方法の結びつきを書くことによって確かにする指導を試みた。比較聴取により子どもが表現効果を理解し意欲をもって歌う姿が見られ、鑑賞と表現を生かした共通事項の理解につながる学習となった。

【中越地区】

10月12日（水）、本研究会指定の研究大会を田上町立田上小学校にて開催。「田上町の伝統や文化を自己化する子どもの育成」の主題のもと、志田美代子教諭が、第1学年で題材「うたって はずんで わらべうた」の授業を、平出久美子教諭が、第3学年で題材「田上の伝統ばやしをつくろう」の授業を、五十嵐真紀子教諭が、第5学年で題材「民謡に親しもう」の授業を公開。地域色にあふれ、どの子どもそのよさを味わいながら音楽づくりを楽しみ、「納得」に繋がる営みが展開された。

また、11月30日（水）、県音楽教育研究会研究大会・第42回中越音楽教育研究会研究大会・長岡市教育研究会研究大会を長岡リリックホールにて開催。「思いをもって表現する子ども～郷土の伝統音楽との豊かなかかわりを通して～」の主題のもと、阪之上小学校の永井民子教諭が第5学年で題材「動きから生まれる音楽～酒造り唄の魅力を見付けよう～」の授業を公開。地域にある伝統音楽の教材化等について示唆に富む大会となった。

【新潟市・下越地区】

今年度の下越音楽教育研究会の研究大会は中学校にて開催。小学校においては、各郡市音楽部で授業公開や研修会に積極的に取り組んだ。

新潟市音楽部では、「聴いて 感じて 考えて 音楽を楽しむ子ども」の主題のもと、ブロック別に授業研究を推進。浜浦小学校の大滝和子教諭が第5学年で題材「曲想を味わおう」の授業を、新津第三小学校の坂内真理子教諭が第1学年で題材「いろいろなおとにしたしもう」の授業を、東山の下小学校の荒木美登利教諭が第4学年で題材「日本の音楽に親しもう」の授業を、五十嵐小学校の土塔郁子教諭が第4学年で題材「いろいろな音色を感じ取ろう」の授業を公開した。

2 音楽科教育の課題

共通事項の位置付けを明確にした題材構成。言語活動の充実。